



はじめませんか？

エシカル消費

Ethical
Consumption

監修 東京大学 名誉教授
山本 良一

日々の買い物で、
社会貢献！



大分県 消費生活・男女共同参画プラザ

豊かな消費生活の裏側で、 今、起きていること

私たちは、日々、何かを消費して生活しています。

食べ物、水、電気、石油、紙、衣類——。

日本に住む私たちは、豊かな消費生活を送っています。

一方、地球は温暖化や森林の減少など様々な環境問題に直面しています。

発展途上国では、貧困や飢餓、児童労働など深刻な社会問題が起きている。

こうした環境問題や社会問題と私たちの豊かな消費生活は、密接に関係しています。



商品の向こう側を考えてみよう

私たちが食べたり、着たり、使ったりしているものは、
どこかで誰かが生産し、加工し、運んできてくれたものです。

ほとんどの場合、私たちは、それがどこで、

どのようにつくられたものか知りません。

もし、今、自分が手にしているもののせいで、誰かが苦しんだり、
自然が破壊されたりしていたとしたら、どう感じますか？

“見えないから、どうでもいい”——それでいいのでしょうか。



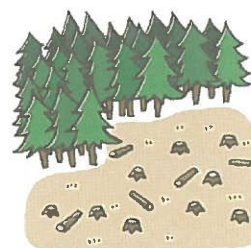
コットンの生産現場では…

世界で流通するコットン（綿花）の約8割が発展途上国で生産されています。そこでは大量の農薬が使われ、世界で毎年2万人が亡くなり、300万人が慢性の病に苦しんでいます（WHO：世界保健機関）。また、生産者のほとんどは小規模農家で、綿花を安く買ったたかれ貧困から抜け出せません。生活を支えるために子どもが働いている場合も多く、「児童労働」が大きな問題になっています。



急激に減少する自然林

日本は紙の生産量、使用量ともに世界3位の紙消費大国ですが、その原料となる木材の7割を海外の森に頼っています。なかでも主たる輸入国であるインドネシアでは、木の伐採や単一種の植林により、ここ数十年で自然林が急激に減少。多くの動物がすみかを失い絶滅の危機に瀕しています。知らずに使っている紙が、インドネシアの自然や動物を傷つけてつくられたものかもしれません。



人も自然も傷つけず、みんなが笑顔になる買い物をしたい。
そんな思いから「**エシカル消費**」が生まれました。



「エシカル消費」って何だろう？

「エシカル (ethical)」とは、「倫理的・道徳的」という意味で、「エシカル消費」は、**人や社会、環境に配慮したものやサービスを選んで消費すること**です。

「〇〇を買わなければならない」「〇〇してはいけない」といった決まったルールはありません。ものやサービスを選ぶとき、「人を傷つけていないかな」「地球に負担をかけていないかな」などを考えれば、それは全て「エシカル消費」です。

環境にやさしい商品かな...?



私たちの消費には、社会を変える力がある！

「私の買い物なんて微々たるものだし……」と思う人もいるでしょう。実は日本の経済全体（GDP：国内総生産）の約6割が家計の支出です。個人の消費が社会に与える影響は、決して小さくありません。何かを「買う」という行動は、つくった人や企業に利益を与えることです。私たちが「環境にいいもの」「人を傷つけないもの」を選べば、それをつくった人や企業は継続・発展します。「環境によくないもの」「人を傷つけるもの」を選択しなければ、それらの商品とつくった企業はいずれなくなります。私たちの「買う／買わない」という選択は、社会を変える力をもっています。



できることから始めてみましょう！

とはいえ、いきなり全ての買い物を「エシカル」にすることは現実的に難しいものです。まずは、ふだんの買い物で「似合うかな？」「おいしいかな？」「値段は？」などと考えるのと同じように、「どこでつくられたのかな？」「環境にやさしいかな？」といった**“エシカルな目線”**を加えてみてください。それが世界を変える「エシカル消費」の第一歩です。



「環境」に配慮した消費

必要なものを、必要な量だけ買う

買い物をする前に「これは本当に必要な」と考えるクセをつけましょう。



使い捨てのものより、長く使えるものを選ぶ

つい値段が安いものを選んでしまいがちですが、少々高くても、長く使えたほうが結局はお得です。

グリーン購入を心がける

ものやサービスを購入するとき、環境への負荷ができるだけ少ないもの、環境負荷の低減に努めている企業のものを選ぶことを「グリーン購入」と言います。グリーン購入の実践には「環境ラベル」が参考になります。

環境ラベルの一例



エコマーク

「生産」から「廃棄」まで環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品につけられる



PETボトルリサイクル推奨マーク

使用済みPETボトルをリサイクルした素材を使用した商品につけられる



エコリーフ環境ラベル

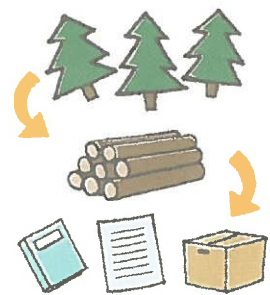
資源採取から製造、物流、廃棄・リサイクルまで全ての定量的な環境情報を開示している商品につけられる

森林保全につながる木材製品・紙を選ぶ

日本は世界中から大量の木材を輸入し、建材や紙の原料などに使っています。木を伐採すれば、当然、森林が減っていきます。森林の減少は、単に木材の不足だけでなく、地球温暖化や生態系の破壊にもつながる大きな問題です。そこで生まれたのが、森を守りながら木材資源を利用する「FSC® (Forest Stewardship Council®: 森林管理協議会)の森林認証制度」です。森林の環境保全に貢献し、地域社会の利益にかない、経済的にも継続可能な形で生産された木材や紙製品が認証されます。



FSCマーク



海の環境や水産資源を守って獲られた水産物を選ぶ

水産物は繁殖と成長のスピードを考えた「適切な量」を獲ればいつまでも食べ続けられますが、それを超えれば減少してしまいます。



MSCマーク

海のエコラベル「MSC (Marine Stewardship Council: 海洋管理協議会)」は、いつまでも魚を食べ続けることができるよう、海洋環境や水産資源を守って獲られた水産物につけられます。消費者がこのラベルのついた水産物を選ぶことで、世界の海洋保全を間接的に応援することができます。



フェアトレード製品を選ぶ

フェアトレード（公正貿易）とは、発展途上国でつくられた作物や製品を、「適正な価格」で「継続的に取引」することによって、立場の弱い発展途上国の生産者や労働者の「生活改善」と「自立」を目指す貿易の仕組みです。フェアトレード製品を買うことで、間接的に発展途上国と生産者を支援することができます。

「日本で買えるフェアトレード製品」

日本に流通しているフェアトレード製品は、大きく3種類に分かれます。



国際
フェアトレード
認証ラベル



世界
フェアトレード
機関のマーク

その他、
各組織の
独自基準で
フェアトレード
をしている
団体の製品

最近では身近なスーパーでもフェアトレード製品を扱うようになってきましたが、まだまだ簡単に入手できる環境にはなっていません。よく利用するお店に置いてないときは、「フェアトレード製品を買いたい」とお店に要望を出してみましょう！

福祉作業所などの製品を買う

障害のある人たちは、住んでいる地域で自立した生活を営めるよう、福祉作業所・障害者施設・地域共同作業所などで雑貨やパン、ケーキなどをつくり販売しています。障害のある人たちがつくった製品を購入することは、障害のある人の支援と自立への後押しにつながります。

寄付付き商品を選ぶ

売り上げの一部を、環境保全や子どもの支援・ボランティアに寄付する商品やサービス（コーズマーケティング）が、今、増えています。例えば、特定のメニューを注文することで自動的に発展途上国に何十円か寄付されるレストランや、製品の値段に寄付金が含まれている文具などです。自分が欲しいものを購入することが社会貢献につながるので、気軽に参加することができます。

フェアトレードの仕組み

フェアトレード団体・企業

生産者と一緒に商品を開発し、技術指導をする。売り上げを再び生産者への支援活動や商品の仕入れ資金として使うことで、継続的に生産者を支援する。



商品開発・指導
適切な資金の
支払い

製品

商品

代金



生産者

適正な収入を得られるようになり、生活が向上する。また、子どもの教育や地域の環境を改善することができ、仕事の知識や技術、環境保護などについて学べる。



消費者

良い製品を適正な価格で買うことができる。

間接的支援



自分の住む地域にはどんな製品があり、どこで買うことができるのか、ぜひ市区町村に聞いてみてください！

「地域」に配慮した消費

できるだけ地産地消を!

地元で生産されたものを、地元で消費する「地産地消」は、買う人は新鮮なものが手に入り、自分の住む地域のつくり手にお金が還元される、いいことずくめの消費スタイルです。

地産地消のメリット

- 新鮮でとれたての食材が手に入る。
- 地域の生産者の収入につながる。
- 生産者の顔が見えることが安心につながる。
- 食材の輸送距離が減り、輸送に伴うCO₂の排出が少なくなるなど、環境への負荷が小さくなる。



\ 知ってる? / フード マイレージ

食材が産地から食卓に運ばれるまでの環境負荷を「食料の重量×輸送距離」で表したもので、その数値が大きいくほど輸送に伴うCO₂の排出量が増え、環境への負荷が大きくなります。実は日本はこのフードマイレージが世界で突出して高くなっています。できるだけ身近な地域で生産された食材を使い、フードマイレージを減らしていきましょう。



地元で買い物をする

身近なお店や地域の商店街で買い物をすることが、地域の活性化につながります。

応援消費をする

自然災害にあった地域や風評被害で困っている地域の産品を積極的に購入することで、被災地に直接行かなくても、間接的にその地域を応援していることになります。東日本大震災をきっかけに大きく広がりました。



伝統工芸品を手にとってみる

今、全国で伝統工芸の担い手が減っています。日本の多くの伝統工芸は、職人の高度な技術に支えられていますが、それを受け継ぐ後継者が不足しているのです。私たちの周りにはたくさんの大量生産された安い製品があり、それらに比べて伝統工芸品は高価です。しかし、そこにはすばらしい技術が詰まっており、一生ものになるものも少なくありません。また多くの伝統工芸品は、自然から得た材料を用いる“エコ”な製品です。伝統工芸の技術を未来に受け継ぐためにも、ぜひ手にとってみましょう。

Animal welfare

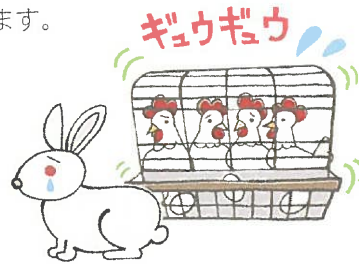
考えてみよう!

アニマルウェルフェア(動物福祉)

食肉や牛乳、卵、革製品など、私たちは多くの動物の命をいただいて生活しています。その利用を認めつつ、動物が感じる苦痛をできるだけ少なくしようという考え方が「アニマルウェルフェア」です。

私たちの豊かな生活の裏では、実は多くの動物が苦しんでいます。これは今、起こっている問題のほんの一部でしかありません。

- 鶏を狭いゲージの中に押し込め、卵を産む機械のように扱う
- オスの子豚を、肉の臭みを消すために麻酔なしで去勢する
- ダウンのために、生きた鳥から羽をむしり取る
- ウサギの目を利用してシャンプーなどの刺激性実験をする



最近では、動物実験に反対する化粧品会社や、ダウンのリサイクルに取り組む団体が出てきています。ただ、欧米では鶏のゲージ飼いを法律で禁止する国もあるなか、日本では畜産分野のアニマルウェルフェアはほとんど進んでいない状況です。スーパーでお肉や卵を買うとき、また革製品やダウン製品を手にとるとき、その背景に何が起こっているのかを考えてみてください。

Mineral resources

考えてみよう!

紛争のない鉱物資源



今や私たちの生活になくてはならない存在になった携帯電話。実はそこにも、社会問題が潜んでいることを知っていますか？

携帯電話やカメラ、ゲーム機などの小型家電には、様々な金属、レアメタルが含まれており、日本はそのほとんどを輸入に頼っています。世界で鉱山開発が行われている場所の多くは、貴重な自然生態系がある地域や政治的に不安定な国です。しかし、資源の輸出によりそれらの国や地域が豊かになっているとは限らず、かえってそれらをめぐる汚職や内乱が増えているのが現状です。

また、大規模な鉱山開発による生態系の破壊や、劣悪な環境下での労働、児童労働や強制労働などの問題も発生しています。



携帯電話などの家電製品を大切に使うこと。処分するにはリサイクルできる方法で処分すること。そして、最近少しずつ出てきた「エシカルメタル(環境や人権に配慮して採掘された鉱物・金属)」「エシカルケータイ(エシカルメタルを使って製造した携帯電話)」などについて考えてみてください。

今すぐ、誰にでもできるエシカル消費もあります。 まずはこんなことからはじめてみましょう！

- ❖ 必要なものを、必要な分だけ
買うよう心がける。
- ❖ 電気や水を大切に使う。
- ❖ リユース、リサイクルできる製品を選ぶ。
- ❖ 買い物をするときはその生産地や
生産国をチェックする。
- ❖ 値段の安さだけでなく、
長く使えるかどうかを重要視する。
- ❖ 積極的に地元で買い物をして、
できるだけ地元の産品を買う。
- ❖ エシカルな認証やマークがついた
商品やサービスを手にとってみる。

あなたがはじめた
小さなエシカル消費が、
日本を、世界を
変えていきます！



ひとりで悩まず ご相談ください!!

消費者ホットライン ☎188 (いやや!)

最寄りの消費生活センターなど相談窓口につながります。

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| ・大分市……………097-534-6145 | ・杵築市……………0978-62-1808 |
| ・別府市……………0977-21-1881 | ・宇佐市……………0978-25-5581 |
| ・中津市……………0979-22-1120 | ・豊後大野市……………0974-22-1018 |
| ・日田市……………0973-22-9393 | ・由布市……………097-582-1298 |
| ・佐伯市……………0972-22-3221 | ・国東市……………0978-72-5183 |
| ・臼杵市……………0972-63-8953 | ・姫島村……………0978-87-2279 |
| ・津久見市……………0972-82-2008 | ・日出町……………0977-73-3158 |
| ・竹田市……………0974-63-4834 | ・九重町……………0973-76-3150 |
| ・豊後高田市……………0978-25-6157 | ・玖珠町……………0973-72-7153 |

大分県消費生活センター

相談専用電話 ☎097-534-0999

大分県消費生活・男女共同参画プラザ《アイネス》

月～金 9:00～17:30

日(第3日曜日を除く) 13:00～16:00

警察総合相談

#9110

土、日、祝日及び夜間は「当直に接続」
または「留守番電話」のいずれかになっています。

大分県消費生活・男女共同参画プラザ《アイネス》

〒870-0037 大分市東春日町1-1 NS大分ビル

☎097-534-2038(消費生活班) FAX 097-534-0684

